

【理学部第二部数学科】

卒業認定・学位授与の方針[ディプロマ・ポリシー]

卒業認定に関しては、建学以来の伝統である実力主義の伝統を堅持する。理学部第二部の学位授与方針の下、所定の期間在学し、所定の単位を修得している学生で以下の知識と能力を身につけた学生に卒業を認定し、学士（理学）の学位を授与する。

1. 「基礎科目」、「専門科目」の履修を通して、高等な現代数学に関する専門的知識。その知識の修得課程に必要な優れた洞察力や粘り強い論理的思考力、及び問題解決力。加えて、演習や卒業研究ゼミを通して自らの数学を記述・発表するための表現力、及びコミュニケーション能力。
2. 一般教養科目の履修や、様々な境遇の学生とのコミュニケーションを通して身につく、多様な価値観を尊重できる豊かな人間力と高い倫理観。また、数学を学ぶ意義を理解する能力と、社会、文化、人間、平和、地球環境、国際性等の観点から科学の役割と責任を論じる能力。
3. 他学部科目や大学院科目の先行履修などを通して、習得した専門的な知識と技術をより深めようとする探究心。また、根本的な問題に対峙した際に、修得した数学的精神を活かし、創造的で自由な発想の下、専門領域を超えて主体的に問題を深く探求する能力。

教育課程編成・実施の方針[カリキュラム・ポリシー]

1. 建学以来の伝統である理学の普及と実力主義の理念に基づき、1年次の「基礎科目」に閉門制度を設け、真に数学力を身につけた学生のみを進級させる。さらに、3年次の終わりに卒業見込判定を行い、所定の単位を修得している学生のみを卒業研究ゼミに配属する。また、高度な専門知識を身につけ、それを説明できる表現力やコミュニケーション能力を養うことを目的として卒業研究ゼミは必修とする。
2. 多様な目的意識を持つ学生、及び就職や進学などの多様な進路先を考慮し、純粋数学から応用数学にわたる幅広い分野を網羅したカリキュラムを編成する。さらに、その各々の専門分野においても基礎理論からアドバンストな内容まで学修できるよう多彩な講義を十分に提供し、多様な学生のニーズに応える。
3. 社会人学生を考慮して、必修科目は複数設定し、その一部は6限以降に開講するなどして、無理なく履修できる時間割を整備する。
4. 数学科教員および情報科教員志望の学生のために、中等数学やその教育課程を学修できる科目や情報科学を学修する科目などを含めたカリキュラムを充実させるとともに、教員志望者に対応した卒業研究ゼミを提供する。また、教職課程を履修しても4年間で卒業できるカリキュラムを編成する。
5. 現代社会における多様な価値観を尊重できるような人材を育成するため、語学を含めた一般教養科目を所定の単位数必修とする。また、単に高度な専門知識を習得するだけでなく、それをいろいろな形で表現できるようになるための一般教養科目を開講し、豊かな人間性と魅力ある人材を育成する。さらに、一般教養科目については他学部とも連携し、語学などのクラス指定科目を除き、他学部の科目も履修できるようにする。
6. 高校数学から大学数学への距離感を縮め、よりスムーズに高等数学を学べる状態に到達できるような科目を開講することで、転学部や編入学、シニアの学生などの負担を軽減し、学習意欲を維持させる。
7. 1年次関門科目と2年次の必修科目に付随して、学生自ら問題発見力、問題解決力を養うためのアクティブラーニングを目的とした演習の科目を開講する。

入学者受入れの方針[アドミッション・ポリシー]

建学の精神と実力主義の伝統をもとに、

1. 高等学校段階までの学習内容を十分に理解し、大学で高等数学を学修するための基礎学力をしっかりと身につけている人で、数学に対する純粋な知的探究心、粘り強い論理的思考力を持ち合わせ、基礎から応用にわたる高度な数理科学を自ら本格的に学ぼうとする強い意思と意欲のある人を受け入れる。
2. 演習やグループ学習、及び卒業研究ゼミなどを通して、多様な境遇、年齢層、及び価値観をもつ学友の考え方や生き方を尊重し、自身の数学力、数学的表現力、コミュニケーション能力を積極的に向上させる意思のある人を受け入れる。
3. 純粋な数学的知識力に加え、冷静な判断力、優れた洞察力、粘り強い論理的思考力などを磨き上げるという高等数学を学ぶ意義をしっかりと理解し、身につけた数学の知識及び数学的精神を自身の生きる力に活用させ、社会に貢献しようとする人を求める。
4. 入学試験では、高等学校卒業と同等程度の学力を有しているかどうか、高等数学に対する強い興味・関心を有しているかどうか、高等数学を身につけ将来どのように活かしたいかなどを総合的に考査し、入学者を選抜する。

【入試形態ごとの入学者に求める能力と、その評価方法】

(A 方式入学試験)

高等学校までの基礎学力を有している人を、大学入学共通テストを利用して選抜する。

(B 方式入学試験)

特に英語と数学の知識が優れている人を、独自の学力試験を行い選抜する。

（学校推薦型選抜（指定校制））

高等学校で着実に優秀な学業成績を収め、本学で数学を学ぶ強い意思があり、勉学に対する強く高いモチベーションを維持できる人を、高校の成績をもとに面接等を行い選抜する。面接では礼節態度、志望動機などのほかに、所定の学力を有しているかを口頭試問により審査する。

（学校推薦型選抜（公募制））

現役の高校生、浪人生や一般の社会人の方で、本学で数学を学ぶ強い意思がある人を募集するために、小論文と面接等を行い選抜する。小論文では数学に対する意欲に限らず、人間性や価値観などを幅広く審査することを含む。面接では礼節態度、志望動機などのほかに、所定の学力を有しているかを口頭試問により審査する。

（社会人特別選抜試験・社会人特別編入学試験）

自己研鑽や教員免許取得、及びキャリアアップなどを目的とした社会人で、大学で数学を学ぶ強い意思がある人を募集するため、面接等を行い選抜する。面接では礼節態度、志望動機などのほかに、目的意識や学問に取り組む姿勢などを口頭試問により審査する。

（一般編入学試験）

これまでに打ち込んできた学問に真面目に向き合った結果、方針転換を真剣に検討し、本学で数学を学びたいという強い意欲がある人を、面接等を行い選抜する。面接では礼節態度、志望動機などのほかに、所定の学力を有しているかを口頭試問により審査する。

（帰国子女入学者選抜）

海外での留学経験や長期滞在経験を有し、国内の勉学環境では得られない様々な能力、意欲を有する人を対象に、大学入学共通テストの成績、書類審査、面接等で選抜する。